

「フィールドワークにおける性暴力・セクシュアルハラスメントに関する実態調査アンケート」

回答ご協力をお願い

皆様

共同研究グループ「フィールドワークとハラスメント(HiF)」では、フィールドワークという研究手法を採る研究者や学生が、フィールドで直面する性被害とその対策に関する実態把握のために、下記のアンケート調査を行います。被害事例に関する情報収集を通して、フィールドで起こる性暴力、セクシュアルハラスメントについての対策と啓発をより充実させていくことを目的としています。

なお、本アンケートは、学問分野ごとのフィールドワーク実施状況の調査、および被害防止のための事前学習の有無に関する調査を兼ねております。フィールドワークの定義は様々ですが、HiFでは「資料やデータの収集のために、研究者自らが研究室や研究機関を離れ、研究対象とする地域や団体など(フィールド)に赴き調査を行う研究手法のこと」と広く設定しております。このようなフィールドワークのご経験がある方は、性被害経験のない方も、ぜひ回答にご協力ください(これらの方々の回答の所要時間は、3～5分程度です)。

フィールドという研究機関を離れた場所でのハラスメントは実態把握が難しく、被害と対策の実態調査は、フィールドワークを行う学生や研究者のよりよい研究環境の構築・維持のため、またフィールドに学生を送り出すにあたり、教員が取りうる対策を検討する上でも有用です。お忙しい中恐れ入りますが、どうぞよろしくお願いいたします。

アンケートはこちら: <https://safefieldwork.live-on.net/survey/purposes-of-this-survey/>

(アンケート趣旨ページに飛びます。趣旨ページの末尾に、回答用URL(Microsoft Formsへのリンク)があります)

※アンケートが回答可能になるのは、1月15日の21:00以降になります

記

1. 調査名:「フィールドワークにおける性暴力・セクシュアルハラスメントに関する実態調査アンケート」
2. 調査目的:フィールドワーク中に起きた性暴力・セクシュアルハラスメントとその対策・対処についての実態把握
3. 使用言語:日本語または英語
4. 回答所要時間:3～30分

5. 実施時期:2022年1月15日~2022年2月15日(予定)
6. 実施形式:Microsoft Forms を利用したウェブ・アンケート
7. 倫理審査:名古屋大学倫理審査委員会による審査・承認済み(承認番号:NUHM-21-009)
8. 実施主体:共同研究グループ「フィールドワークとハラスメント」(HiF)

<https://safefieldwork.live-on.net/>

9. 後援:一般社団法人男女共同参画学協会連絡会 <https://djrenrakukai.org/>

人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会(通称 GEAHSS)

<https://geahssoffice.wixsite.com/geahss>

10. 問い合わせ先:sub.fieldworkandsafety@gmail.com

以上

フィールドワークとハラスメント(HiF)企画者一同

大友瑠璃子(北海道大学)、杉江あい(名古屋大学)、堀江未央(岐阜大学)、椎野若菜(東京外国語大学)、山口亮太(静岡県立大学/学振 RPD)、蔦谷匠(総合研究大学院大学)、黄潔(名古屋大学)、稲角暢(京都大学/日本学術振興会ナイロビ研究連絡センター)